

令和7（2025）年度 和歌山大学大学院観光学研究科

博士後期課程（第2回募集）の実施 及び 学生募集要項の変更について

令和6年10月18日

和歌山大学大学院観光学研究科

和歌山大学大学院観光学研究科博士後期課程では、第2回募集を実施します。

あわせて、学生募集要項を以下のとおり変更します。

募集要項の該当頁：2頁（一般選抜）、8頁（社会人選抜）、14頁（外国人留学生選抜）

（第2回目募集）募集人員

専攻名	募集人員（注）
観光学専攻 （博士後期課程）	4名 <u>注：募集人員には一般選抜、社会人選抜及び外国人留学生選抜による募集人員を含みます。</u>

以上

郵便料金の変更（2024年10月1日から）に伴う貼付郵便切手料金の変更について

和歌山大学大学院観光学研究科

このことについて、大学院観光学研究科学生募集の募集区分「**第2回募集**」

- ・ 出願資格審査に申請する場合
- ・ 出願する場合

は以下のとおり貼付郵便切手料金を変更していただくようお願いします。

記

(変更前) 344円 → (変更後) **410円**

※速達定形郵便物（50g以内）分

令和7年度 大学院観光学研究科 学生募集要項

課程	入試区分	申請書類 または 出願書類	該当頁
博士前期課程	一般選抜	⑤出願資格審査結果通知用封筒	3
		⑦受験票送付用封筒	5
	社会人選抜	⑤出願資格審査結果通知用封筒	9
		⑧受験票送付用封筒	11
	私費外国人留学生選抜	⑤出願資格審査結果通知用封筒	15
		⑧受験票送付用封筒	17
博士後期課程	一般選抜	⑨審査結果通知用封筒	3
		⑪受験票送付用封筒	6
	社会人選抜	⑨審査結果通知用封筒	9
		⑫受験票送付用封筒	12
	私費外国人留学生選抜	⑨審査結果通知用封筒	16
		⑫受験票送付用封筒	18
専門職学位課程	一般選抜	⑤出願資格審査結果通知用封筒	3
		⑦受験票送付用封筒	5
	社会人選抜	⑤出願資格審査結果通知用封筒	9
		⑧受験票送付用封筒	11



<https://www.wakayama-u.ac.jp/>

和歌山大学大学院
観光学研究科
**博士後期課程
学生募集要項**

Wakayama University

電車でのアクセス



空港からのアクセス



<https://www.wakayama-u.ac.jp/>

和歌山大学大学院観光学研究科
博士後期課程学生募集要項



tourism

tourism

目 次

和歌山大学大学院観光学研究科博士後期課程

教育目的とアドミッション・ポリシー	1
I. 一般選抜	2
1. 募集人員	2
2. 出願資格	2
3. 出願資格審査	3
4. 出願手続	4
5. 入学試験	6
6. 合格者発表	7
II. 社会人選抜	8
1. 募集人員	8
2. 出願資格	8
3. 出願資格審査	8
4. 出願手続	10
5. 入学試験	12
6. 合格者発表	13
III. 外国人留学生選抜	14
1. 募集人員	14
2. 出願資格	14
3. 出願資格審査	15
4. 出願手続	16
5. 入学試験	19
6. 合格者発表	19
IV. 一般選抜・社会人選抜・外国人留学生選抜 共通	20
1. 入学時期	20
2. 入学手続	20
3. 入試情報の開示	20
4. 個人情報の取扱い	21
5. 募集要項の請求方法	21
V. 研究指導教員(主指導教員)	22
コンビニエンスストアでの検定料払込方法	27

入試日程（一般選抜・社会人選抜・外国人留学生選抜 共通）

	出願期間		試験日		合格発表		入学手続期間
第1回募集	8月20日(火)～ 8月22日(木)	⇒	9月22日(日)	⇒	10月18日(金)	⇒	3月15日(土) 午後5時まで
第2回募集	1月6日(月)～ 1月8日(水)		2月9日(日)		3月6日(木)		

和歌山大学大学院観光学研究科博士後期課程 教育目的とアドミッション・ポリシー

1. 教育目的

わが国における観光学の確立と観光教育研究の世界水準の高度化・国際化を速やかに達成することを通じ、観光に関わる多様な社会的実践に際し、リーダーとして活躍できる人材を育成することを目的とする。

(和歌山大学大学院観光学研究科規則第3条第2項)

2. アドミッションポリシー

【求める学生像】

観光学研究科博士後期課程において、入学者に求める能力・資質は以下のとおりである。

1. 国際的かつ学際的な観点から観光学を科学的に考究するための専門的な知識を有し、研究課題に関連する専門領域及びその周辺領域に関する研究動向を把握している人
2. 高度な観光学の認識を踏まえ、社会的実践に活かし、課題解決に主体的に取り組むために必要な研究能力、包括的な課題対応能力の基礎を有する人
3. 観光学の学修・研究活動において求められる高い倫理観をもって取り組む態度を有する人

【入学後の期待】

入学時に有する能力・資質をもとに、高度な専門性と包括的な課題対応能力に加え、国際的な水準の議論に耐えうる研究活動を行い、その成果を、学術的に高く評価される博士論文として結実させる能力を身につけることが求められる。

【入学者選抜の基本方針】

1. 一般選抜及び外国人留学生選抜では、研究計画書及び修士学位論文又はこれに代わる研究論文等の内容に基づく口述試験により、研究課題に対する専門的及び学際的な知識、研究能力及び課題解決への意欲と主体性、倫理観を総合的に評価し、入学者を選抜する。
2. 社会人選抜では、研究計画書及び修士学位論文又はこれに代わる研究論文等の内容に基づく口述試験により、最終学歴以降の研究への準備状況及び研究課題に対する専門的及び学際的な知識、研究能力及び課題解決への意欲と主体性、倫理観を総合的に評価し、入学者を選抜する。

令和7年度

和歌山大学大学院観光学研究科博士後期課程学生募集要項

I. 一般選抜

1. 募集人員

専攻名	募集人員(注)	
	第1回募集	第2回募集
観光学専攻	6名	未定

注：募集人員には社会人選抜及び外国人留学生選抜による募集人員(若干名)を含みます。

第2回募集は、第1回募集の定員充足状況により、実施しない場合があります。

実施の有無、募集人員については、第1回募集の合格発表後に本研究科のホームページでお知らせします。

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者。

- (1) 修士の学位または専門職学位を有する者および令和7年3月末日までに取得する見込みの者。
- (2) 外国において、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者および令和7年3月末日までに授与される見込みの者。
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者および令和7年3月末日までに授与される見込みの者。
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者および令和7年3月末日までに授与される見込みの者。
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法(昭和51年法律第72号)第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者および令和7年3月末日までに授与される見込みの者。
- (6) 文部科学大臣の指定した者。(平成元年文部省告示第118号)

次のいずれかに該当する者であって、その後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者。

① 大学を卒業した者。

② 外国において学校教育における16年の課程を修了した者。

③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者。

- (7) 本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者および令和7年3月末日までに24歳に達する者。

※出願資格(6)、(7)により出願を希望する者は、事前に出願資格審査を受ける必要があります。合格者のみが出願できます。次項の「3. 出願資格審査」に従い、申請してください。

3. 出願資格審査

出願資格(6)、(7)により出願を希望する者は、出願に先立ち出願資格の審査を行いますので、下記により申請書類を提出してください。

(1) 申請期間

第1回募集	令和6年 7月 1日(月)～ 7月 3日(水)	受付時間 9時～16時(12時から13時は除く) 土曜日・日曜日を除く
第2回募集	令和6年11月27日(水)～11月29日(金)	

郵送の場合は、封筒の表に「大学院観光学研究科博士後期課程出願資格審査申請」と朱書きし、書留郵便で申請期間内に必着するように送付してください。申請期間を過ぎて到着したものは受理しません。

(2) 申請先

和歌山大学学務課観光学部係(学生センター)

〒640-8510 和歌山市栄谷930番地 TEL 073-457-8542

(3) 申請書類

①出願資格審査申請書	所定用紙。
②研究状況説明書	所定用紙。 最終学歴後の研究の状況を記載してください。 「研究状況説明書」に記載したものについて、研究歴の証明書、資格証明書等、実績や能力を証する書類の写しを添付してください。
③修士学位論文に代わる論文の写し (3部)	表紙に論文題目および氏名を明記したもの。 3部を提出してください。
④修士学位論文に代わる論文の要旨 (3部)	A4判の用紙2枚程度に要約したもの。 論文題目および氏名を明記のこと。 3部を提出してください。
⑤研究論文(任意) (3点まで、各3部)	刊行された研究論文があれば、3点までを提出することができます。写し可。各3部を提出してください。
⑥研究業績リスト(任意)	修士学位論文に代わる論文以外に研究業績を有する者は提出してください。有しない者は不要です。 研究論文その他の業績の名称、単著・共著の別、発行または発表年月、発行所、発表雑誌等または発表学会等の名称を記したもの。 A4判の用紙に様式自由で作成してください。
⑦最終学歴の成績証明書	出身学校の長が作成したもの。 日本語、英語以外で作成された証明書には公的認証のある日本語訳または英語訳を添付してください。
⑧最終学歴の卒業(修了)証明書	出身学校の長が作成したもの。 日本語、英語以外で作成された証明書には公的認証のある日本語訳または英語訳を添付してください。
⑨審査結果通知用封筒	所定封筒。 344円分の切手を貼付し、郵便番号、住所、氏名を明記してください。 ※郵便料金が改定された場合は、改定後の速達定形郵便物(25g以内)分の切手を貼付してください。

(注) 上記以外で、追加書類の提出を求める場合があります。

(4) 審査結果の通知

第1回募集は令和6年8月1日(木)、第2回募集は令和6年12月19日(木)までに通知します。

4. 出願手続

(1) 出願期間

第1回募集	令和6年8月20日(火)～8月22日(木)	受付時間 9時～16時(12時から13時は除く) 土曜日・日曜日を除く
第2回募集	令和7年1月6日(月)～1月8日(水)	

郵送の場合は、封筒の表に「大学院観光学研究科博士後期課程出願書類在中」と朱書きし、書留郵便で申請期間内に必着するように送付してください。申請期間を過ぎて到着したものは受理しません。

(2) 提出先

和歌山大学学務課観光学部係(学生センター)

〒640-8510 和歌山市栄谷930番地 TEL 073-457-8542

(3) 受験上および修学上の配慮を必要とする者の事前相談

障害等のある入学志願者で、受験上および修学上の配慮を必要とする場合は、出願開始日の1か月前までに、学務課観光学部係(学生センター)にその旨を申し出てください。

また、出願後においても、不慮の事故等により受験上および修学上の配慮が必要となった場合は、その時点で速やかに申し出てください。

なお、受験上の配慮については、内容によって対応に時間を要し、試験日までに対応できず、配慮が講じられないこともありますので、できるだけ早い時期にご相談ください。

(4) 出願書類等

下記の出願書類すべてを一括して提出してください。

出 願 書 類	備 考
①入学願書	所定用紙。 高等学校入学以降の学歴および職歴を所定欄に記載してください。 研究指導を希望する教員1名の氏名を第1希望欄に必ず記入してください。なお、第3希望まで記入することができます。 入学検定料納入の際に金融機関から交付される振込金受付証明書(C票)、またはコンビニエンスストアから交付される収納証明書を所定の欄に貼付してください。
②研究計画書	所定用紙。 様式は下記URLよりダウンロードできます。 https://www.wakayama-u.ac.jp/tourism/ 英語で作成可。文字数、枚数は問いません。
③修士学位論文またはそれに代わる論文の写し (3部)	表紙に論文題目および氏名を明記したもの。 3部を提出してください。 修士の学位を取得する見込みの者については、修士論文課題と研究の進行状況がわかる資料(3部)を提出してください。専門職学位を取得する見込みの者については、在学中に本人が行った研究内容の概要(様式任意)(3部)を提出してください。 出願資格(6)(7)により出願する者は不要です。

④修士学位論文またはそれに代わる論文の要旨 (3部)	A 4判の用紙2枚程度に要約したもの。 論文題目および氏名を明記のこと。 3部 を提出してください。 修士の学位を取得する見込みの者については、修士論文課題と研究の進行状況がわかる資料(3部)を提出してください。専門職学位を取得する見込みの者については、在学中に本人が行った研究内容の概要(様式任意)(3部)を提出してください。 出願資格(6)(7)により出願する者は不要です。
⑤研究論文 (任意) (3点まで、各3部)	刊行された研究論文があれば、3点までを提出することができます。写し可。各3部を提出してください。 出願資格(6)(7)により出願する者は不要です。
⑥研究業績リスト (任意)	修士学位論文またはそれに代わる論文以外に研究業績を有する者は提出してください。有しない者は不要です。 研究論文その他の業績の名称、単著・共著の別、発行または発表年月、発行所、発表雑誌等または発表学会等の名称を記したものを。 A 4判の用紙に様式自由で作成してください。 出願資格(6)(7)により出願する者は不要です。
⑦修士(専門職)課程成績証明書	出身大学長または研究科長が作成し、厳封したもの。 日本語、英語以外で作成された証明書には公的認証のある日本語訳または英語訳を添付してください。 出願資格(6)(7)により出願する者は不要です。
⑧修士(専門職)課程修了(見込)証明書 または 修士(専門職)学位授与(見込)証明書	出身大学長または研究科長が作成したもの。 ただし、外国の大学院を修了した者は両方を提出してください。 日本語、英語以外で作成された証明書には公的認証のある日本語訳または英語訳を添付してください。 出願資格(6)(7)により出願する者は不要です。
⑨受験票・写真票	所定用紙。 写真は、出願前3か月以内に撮影した脱帽上半身正面向きで、縦4cm×横3cmのものを貼付してください。
⑩入学検定料	入学検定料 30,000円 以下の納入方法のうち、いずれかの方法で納入してください。 なお、本学大学院(他研究科を含む)の博士前期(修士)課程または専門職学位課程を令和7年3月修了見込みの者は検定料の納付は必要ありません。
金融機関	所定用紙「振込依頼書」により金融機関(ゆうちょ銀行を除く)の窓口で振り込んでください。(ATM(現金自動預入支払機)やインターネット等での振込みは不可) 受領した「振込金受付証明書(C票)」を「入学願書」の所定欄に貼付して提出してください。収納印がない場合は願書を受理しません。
コンビニエンスストア	「セブン-イレブン」、「ローソン」、「ミニストップ」、「ファミリーマート」のいずれかのコンビニエンスストアから払い込んでください。 (上記以外のコンビニエンスストアからは払い込みできません。) 払込方法の詳細は、「コンビニエンスストアでの検定料払込方法」P27を参照してください。 「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取って「入学願書」の所定欄に貼付して提出してください。 なお、払込期間が次のとおり決まっていますので、ご注意ください。

		<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">払込期間</td> <td>第1回募集</td> <td>令和6年 7月22日(月) 午前0時～ 令和6年 8月22日(木) 午後3時</td> </tr> <tr> <td>第2回募集</td> <td>令和6年12月 8日(日) 午前0時～ 令和7年 1月 8日(水) 午後3時</td> </tr> </table>	払込期間	第1回募集	令和6年 7月22日(月) 午前0時～ 令和6年 8月22日(木) 午後3時	第2回募集	令和6年12月 8日(日) 午前0時～ 令和7年 1月 8日(水) 午後3時
払込期間	第1回募集	令和6年 7月22日(月) 午前0時～ 令和6年 8月22日(木) 午後3時					
	第2回募集	令和6年12月 8日(日) 午前0時～ 令和7年 1月 8日(水) 午後3時					
	クレジットカード	日本国外から出願する場合についてのみ、クレジットカードによる払い込みが可能です。詳細については、余裕をもってお問い合わせください。					
	⑪受験票送付用封筒	<p>所定封筒。</p> <p>郵便番号、住所、氏名を明記の上、344円分*の切手を貼付してください。</p> <p>*郵便料金が改定された場合は、改定後の速達定形郵便物(25g以内)分の切手を貼付してください。</p>					
	⑫あて名票	<p>所定用紙。</p> <p>郵便番号、住所、氏名を明記してください。</p>					

(5) 出願に当たっての注意事項

- ① 入学志願者は、出願の前に指導を希望する教員へ研究内容等について問い合わせてください。なお、教員の研究分野および指導内容については「V. 研究指導教員(主指導教員)」を参照してください。
- ② 出願書類に不備がある場合は、原則として受理しません。
- ③ 出願後は、原則として記載事項の変更は認めません。
- ④ 出願書類受理後は、入学検定料の返還および出願書類の返却はしません。
- ⑤ 出願書類に虚偽の記載をした場合は、入学決定後であっても入学許可を取り消すことがあります。
- ⑥ 日本国外から出願する場合は、事前に必ずお問い合わせください。

(6) 受験票の送付

試験期日の1週間前までに受験票を発送する予定です。試験期日の1週間前までに到着しない場合は、学務課観光学部係(学生センター)にお問い合わせください。

5. 入学試験

(1) 選考方法

選考は、口述試験の成績および出願書類を総合して行います。

口述試験は、研究計画書、修士学位論文またはそれに代わる論文、研究論文等に基づき実施します。

受験者は、研究計画書の控え、修士学位論文またはそれに代わる論文等を持参してください。

(2) 試験日時

募集区分	試験日	試験科目	試験時間
第1回募集	令和6年9月22日(日) ※〔予備日：9月29日(日)〕	口述試験	受験票を送付する際に個別に通知します。
第2回募集	令和7年2月9日(日) ※〔予備日：2月16日(日)〕	口述試験	受験票を送付する際に個別に通知します。

※自然災害等の理由により、試験日に実施できない場合、翌週(予備日)に実施します。
その場合は、決定次第、和歌山大学観光学研究科ホームページに掲載します。

(3) 試験場所

和歌山大学 西2号館(W2)

(4) 受験上の心得

- ① 集合時刻は、受験票を送付する際に個別に通知します。
- ② 集合時刻に遅刻した場合は、受験を放棄したものとして取り扱う場合があります。
- ③ 試験当日、交通機関等に支障を来すような事態が生じてても、受験できるように、余裕をもって到着するようにしてください。
- ④ 別途、受験上の指示が出ることがあります。

6. 合格者発表

(1) 合格者の発表は、次のとおり、合格者の受験番号を掲示します。

第1回募集	令和6年10月18日(金) 午前9時	掲示場所 西4号館(W4)前の掲示板
第2回募集	令和7年3月6日(木) 午前9時	

(2) 合格者へは合格発表日に合格通知書を発送します。

(3) ホームページ上に合格者番号を下記のとおり掲載します。

<https://www.wakayama-u.ac.jp/tourism/>

〈掲載期間〉

第1回募集：令和6年10月18日(金) 正午から 10月23日(水) 午後5時まで

第2回募集：令和7年3月6日(木) 正午から 3月11日(火) 午後5時まで

※これは、本研究科が情報提供の一環として行うものであり、公式の発表は上記(1)および(2)によります。

また、当日は回線の状態により応答が遅くなったり、閲覧が出来なくなることも予想されますのでご留意ください。

(4) 電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

IV. 一般選抜・社会人選抜・外国人留学生選抜 共通

1. 入学時期

入学の時期は令和7年4月です。

2. 入学手続

合格者には、入学手続書類を送付しますので、その内容をよく確認して、下記の期間に入学手続を行ってください。

(1) 入学手続期間

第1回募集	令和7年3月15日(土)
第2回募集	午後5時まで本学入試課必着

※外国人留学生に限り、査証取得に日数を要することから、希望により2月中旬に入学手続を行うことができます。詳しくは合格通知書とともにお知らせします。

なお、期間内に入学手続を行わなかった場合は、入学を辞退したものと取り扱います。

(2) 入学納付金

① 入学料 282,000円

入学料は、本学所定の振込依頼書により、入学手続時までに納入してください。

② 授業料 前期分 267,900円(年額 535,800円)

上記①②の納付金額は令和6年度のもので、令和7年度入学者の納付金額については、決定次第、別途お知らせします。

なお、在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

上記①②の納付方法の詳細は、合格者に送付する入学手続案内でお知らせします。

令和7年3月に本学大学院(他研究科を含む)博士前期(修士)課程または専門職学位課程を修了した者で、引き続き博士後期課程に進学する者については入学料は不要です。

3. 入試情報の開示

(1) 志願者数、受験者数、合格者数、入学者数等は、本学ホームページで開示します。

(2) 試験成績(本人の成績を段階評価)

◇ 開示方法

受験者本人からの請求により以下のとおり開示します。

ア. 窓口での受付 ※申請受付当日の開示はできません。

「試験成績開示申請書(本学所定様式)」に記入の上、申し込んでください。

《請求に必要なもの》

・本学受験票(原本) ※確認後、返却します。

イ. 郵送による受付

受験者が遠隔地等の理由による場合は、郵送により請求することも可能です。

請求する本学あての封筒の表に「成績開示請求」と朱書きし、必要書類を同封の上、必ず受験者本人が郵便(特定記録)で申し込んでください。

《請求に必要なもの》

・返信用封筒「角形2号(24cm×33.2cm)」(定形外郵便物簡易書留料金(50g以内)分の切手を貼付し、受験者本人あての住所・氏名を明記したもの)

- ・「試験成績開示申請書(本学所定様式)」
- ・本学受験票(原本) ※確認後、返却します。

◇ 開示時期

翌年度の5月～6月の月曜日～水曜日(祝日を除く) 9時～17時(12時～13時を除く)。
郵送の場合は、6月最後の平日の17時までに必着となるよう郵送してください。

◇ 開示場所(請求先)

学務課観光学部係(学生センター) TEL 073-457-8542

4. 個人情報の取扱い

本学が保有する個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人和歌山大学における個人情報の保護に関する規程」等に基づき、厳密に取り扱います。

(1) 出願書類等に記載された個人情報は、「入学者選抜(出願処理、選抜試験実施)」、「合格者発表」、「入学手続」の入試業務、「入試の改善や志願動向等の調査・研究」、「その他の本学における諸調査・研究等」を行うために利用します。出願書類等に不備があった場合には、その訂正・補完を迅速に行っていただくために、本学に出願していることを、保護者等又は出身学校に連絡する場合があります。

なお、入学者については、「入学者の受入準備」、「教務関係(学籍管理、修学指導等)」、「学生支援関係(健康管理、授業料免除・奨学金業務、就職支援等)」、「授業料等収納業務」を行うために利用します。

(2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、「入試結果の集計・分析」、「入学者選抜方法の調査・研究」及び「学生支援関係(授業料免除・奨学金業務等)」を行うために利用します。

(3) 一部の業務を外部の事業者へ委託する場合があります。この場合、外部の事業者と個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだ上で、当該事業者に対して個人情報を提供します。

(4) 捜査機関等が捜査上必要とした場合等、行政機関等が法令に定める業務等を行うに必要な限度で利用することについて、相当の理由があるときに、当該行政機関に個人情報を提供します。

5. 募集要項の請求方法

募集要項の郵送を希望する場合は、下記あてに返信用封筒〔角形2号(24cm×33.2cm)の封筒にゆうメール(250g以内)分の切手を貼付の上、郵便番号、住所、氏名および朱書きで「ゆうメール」と明記したもの〕を送付してください。

往信用封筒には、「観光学研究科博士後期課程学生募集要項請求」と朱書きしてください。

外国から送付を希望する場合は、下記あてにお問い合わせください。

入学試験に関する問い合わせ先

和歌山大学学務課観光学部係(学生センター)

〒640-8510 和歌山市栄谷930番地

TEL : 073-457-8542

FAX : 073-457-7800

E-mail : tgakumu@ml.wakayama-u.ac.jp

HP : <https://www.wakayama-u.ac.jp/tourism/>

V. 研究指導教員(主指導教員)

氏名	研究分野	指導内容
足立 基浩	都市経済学、土地経済学	ヨーロッパや他の先進国と異なり、日本の中心市街地の衰退は激しい。中心市街地問題は、空間を分析対象としているので、経済学、観光学、社会学、政治学、地理学、土木工学、都市計画など多様な側面からの検討が必要である。ここでは主に経済学、経営学的な側面を重視し、「商業空間としての中心市街地問題」「観光地としての中心市街地問題」「持続可能な都市空間としての中心市街地問題」などの研究題目による研究の深化を通じて、博士論文の作成を導きたい。
大浦 由美	森林・林業政策、 森林レクリエーション、 都市農村交流、協働	「都市と農村の協働による地域資源管理」や「自然(森林)地域における観光」、「森林資源を活用した地域振興」等をテーマとする学生に対し、森林経済学や地域経済学の観点から研究指導を行う。国内外の関連領域における先行研究の整理と検討、これに基づく独自の課題設定と研究の位置づけの明確化、適切な事例地の選択およびフィールド調査の実施と分析、学会報告や論文投稿などの成果を積み上げ、博士論文を完成させる。想定される研究題目は、「持続可能な観光と自然資源管理」、「森林の社会化とツーリズム」、「地域資源管理におけるボランティアツーリズムの社会的意義」などである。
木川 剛志	都市形態学、 観光映像論、 観光メディアデザイン	都市は長年の人の営みとともに形成された文化的生成物と考え、その研究を行うことで人間の理解を進めることを研究室では目指している。観光も、人間が自分の親しんだ空間を離れて他者の空間を体験する行動と考える。これらの理解のためには、文化研究から空間解析まで幅広い知識と手法研究が必要であり、それらの研究指導が基本となる。ただし、学生の研究対象に合わせて内容は対応することとなる。想定される研究課題は「近代以降の城下町の観光による変容についての研究」や「観光映像によるデジタルトランスフォーメーションによるプロモーション手法のこれから」などである。
北村 元成	グラフィックデザイン、 ブランドデザイン、 サイン	観光をデザインの視点から研究する。デザインは様々な場面で観光と関わっている。街並みや観光地・観光施設、お土産物等の観光資源はどのようにデザインされているのか。観光資源や観光商品を伝えるために、その広告や広報はいかにデザインすべきなのか。スタイリングやカラーリングとしてのデザインだけでなく、マーケティング調査・分析に基づく企画・設計、広告効果測定などの評価を含めた総合的なマネジメントやブランディングを観光におけるデザインの課題として捉えていく。想定される研究題目は「地域アイデンティティのデザイン」「観光におけるユニバーサルデザイン」「観光・地域のブランドデザイン」などである。

氏名	研究分野	指導内容
Zainal Abidin Husna	Tourism Management, Tourism & Technology, Service Design in Tourism and Hospitality	<p>Dr Husna Zainal Abidin primarily supervises research around the topics of tourism and technology. Some key research areas include, 1) exploring how digital technologies influence tourism management and tourist behaviour for sustainable tourism development, 2) exploring how service design can be integrated to develop meaningful tourism experiences, and a recently developed research area of 3) exploring the development of Muslim-friendly destinations.</p> <p>Dr Husna Zainal Abidin will support students' research journey by facilitating the development of key research skills. This includes fostering critical thinking skills, nurturing resourcefulness, and providing guidance in the development of high-quality academic publications.</p>
佐野 楓	ツーリズム・ マーケティング	<p>指導内容としては、主に以下の2つの側面から考えている。すなわち、①ソーシャルメディアの誕生と発展によってもたらされたツーリズム2.0時代において、旅行会社、ホテル、DMO等はいかに集客し、ソーシャルメディアによる評判管理やブランド・マネジメントをいかに行うのかと、②観光地に競争優位をもたらすための市場戦略の一つであるスマート・ツーリズムを、観光地におけるステークホルダーの価値共創によっていかに実現させるのかを明確にすることである。想定される研究題目は「ツーリズム2.0時代のソーシャルメディア・マーケティング競争優位に関する研究」、「価値共創によるスマートツーリズム・デスティネーションの構築」である。</p>
Chakraborty Abhik	地理学、複合的システム、 観光学、エコツーリズム	<p>世界遺産地域や自然地域におけるツーリズムの課題、国立公園マネジメント、エコツーリズムの理論や実践などに関連する研究課題であれば幅広い観点から指導が可能。基本的に研究課題やアプローチを自由に選択することができるが、学術的意義が明確な課題であることが望ましい。また学術研究への関心を持つこと、適切な研究方法に沿って研究を行うことを積極的に求める。調査方法に関して、現場中心型方法や質的研究方法を優先に指導を行う。特に意識していただきたいのは、「観光」は様々なスケールにおいて自然界や人間社会と複雑に関係する現象であるため、その諸問題の分析や改善案を提供する際、観光そのものに限らずそれに関連した自然環境や生活の側面の複合性への理解が必要不可欠である。また、観光が行われている地域に関して、その自然や社会的特徴を見極めると同時にそれぞれの「変化」についても十分に配慮することが重要である。特に世界自然遺産や国立公園など保護地域では人間だけでなく貴重でありながら脆弱でもある生物や自然現象が観光の対象に含まれるため、それらの健全性を配慮した地域マネジメントや観光の実践が求められる。自分の現在の主な研究現場は山岳地域や、屋久島・知床半島・白神山地・白川郷など複数の世界遺産地域であり、研究の参考事例としてこれらの地域を紹介することも可能である。</p>

氏 名	研 究 分 野	指 導 内 容
辻本 勝久	交通経済学、交通工学、地域政策	<p>観光は、観光資源や観光客と、それらを結びつける交通がなくては成立し得ない。この意味で交通は観光の3大構成要素の一つとも言える。</p> <p>観光学に関連する交通面からの研究課題としては、観光交通需要の予測や分析、運賃・料金・その他のサービス水準といった交通供給面からの分析、交通市場を取り巻く規制や補助制度の変容(たとえば航空市場の自由化)と観光地への影響の分析、交通基盤整備の計画と評価および財源調達方法の考察、交通が環境・社会・経済に及ぼす各種の影響をふまえた持続可能型観光交通政策の提示、観光振興に向けた鉄道・バス・道路・航空・水運等の各分野ごとの政策や総合交通政策のあり方、交通手段維持のための地域住民・行政・経済界・交通事業者等の連携のあり方等を挙げる事ができる。このように観光学に関連する交通面からの研究課題は多岐にわたる。研究指導では、社会的要請や国内外における交通研究の動向等をふまえて学生の研究を深化させ、博士論文の作成へと導く。研究題目としては、「地方鉄道の観光資源化と民産官学連携」「高速交通網の発展と地域の観光振興戦略」「観光地における交通バリアフリー化施策の評価手法」等が想定される。</p>

氏 名	研 究 分 野	指 導 内 容
Doering Adam	Critical Tourism Studies, Philosophy & Ethics, Lifestyle Sports (Surfing), Tourism & Environment	<p>Supervision will generally be provided for studies relating to three overlapping research projects. Research students wishing to study tourism in Japan using English, but not listed in the details below are also welcome.</p> <p><u>Critical Tourism Studies : Philosophy & Ethics.</u> This ongoing project is an expressive outlet for philosophical and ethics-related research within the field of tourism studies. Inspired by thinkers like Deleuze, Derrida, and Jean-Luc Nancy, amongst others, I have examined themes of freedom and belonging, creation and praxis, hospitality, relational ethics, socializing tourism and post-disciplinarity. The aim of this research project is to help inspire a new generation of tourism scholars to engage with tourism philosophically at a time increasingly characterized by various modes of neo-pragmatism.</p> <p><u>Lifestyle Sports : Surf Studies Japan.</u> Apart from a few sporadic contributions little has been written about Japan's diverse surfing histories, cultures, destinations, and transnational networks. The broad aim of this research project is contribute to efforts to decolonize and decenter surfing and surf research in two ways. First is contextual, highlighting the importance of the culturally and site-specific character of how global surf cultures are being assembled within in the current Japanese context. Secondly, research aims to offer insight into the specific histories, gender relations, cultural politics, and transnational mobilities informing contemporary surfing and place-making in rural coastal Japan.</p> <p><u>Tourism-Environment Relations (Coastal Environments).</u> This research area focuses on tourism-environment relations in coastal environments. Here we explore coastal tourism development, Japanese and global beach cultures, and ocean-based relations through the lens of lifestyle sports and tourism. In this context students research the history, politics, tourism development, and political ecology of coastal development in Japan. Current research is dedicated to examining the role of surfing and surf tourism in Fukushima Prefecture's post-disaster resurgence.</p>
永瀬 節治	都市計画、 都市デザイン、 歴史的環境保全	<p>都市計画制度と都市デザイン・まちづくりのこれまでの発展プロセスに関する知識の習得を前提に、地域の歴史的な文脈と現代の地域社会が直面する課題を複合的に捉えながら、生活と観光の共存・融合による持続可能な都市空間の構築に向けた計画技術のあり方を考究する学生を指導する。具体的な研究題目として、「公民連携による公共空間マネジメント」、「文化遺産の保全活用を通じた地域再生」、「観光を支える空間計画技術の歴史的展開」等を想定している。</p>

氏 名	研 究 分 野	指 導 内 容
堀田 祐三子	都市計画学、都市政策	<p>地域生活空間の再生・創造と、観光との関係性を中心テーマとし、空間計画およびその主体形成の視点から研究指導を行う。関連文献や理論研究の批判的分析を通じて、実証研究の基盤をつくり、地方都市や欧州の中小都市における地域生活空間の再生・創造の取り組み等を事例分析の対象として、主体の関与と地域空間・観光空間の形成プロセスの調査分析を行う。これらの成果を学会論文としてとりまとめ、発表し、博士論文を完成させる。想定される研究題目は、「持続可能な都市のあり方と観光開発」「都市景観の形成プロセスと観光まちづくり」「アーバン・ツーリズムの展開とアーバンデザイン」などである。</p>
八島 雄士	管理会計、社会的企業、 中間支援組織、 ディスティネーション・ マネジメント & コントロール	<p>観光関連の経営体について、意思決定やマネジメント・コントロールの観点から研究指導を行う。実際には、①リサーチクエスションの設定、②国内外の先行研究のサーベイ、③研究方法の選択と調査計画、④実態調査の実施と収集データの分析および考察などのプロセスを経て、博士論文を完成に導く。なお、想定される主な研究題目は、「観光関連事業におけるマネジャーの役割と貢献」、「観光経営組織におけるガバナンスとマネジメント・コントロール」、「DMO形成による地域の価値創造基盤再構築」、「セルフイノベーションを実現する管理会計システムの導入研究」などである。</p>
吉田 道代	人文地理学、地域研究、 観光学	<p>政治・社会問題に焦点を当てた観光研究に関心を持つ学生を対象に、①先行研究の批判的検討と課題の設定、②調査方法とフィールドの選定、③データ収集と分析・考察、④学術誌への論文投稿、⑤投稿論文をふまえた博士論文執筆の段階を経て、博士論文提出に導く。担当者の専門は、政治・社会地理学であり、この学問領域をベースに研究指導を行いたい。想定される主な研究題目は「観光とナショナリズム」、「観光とジェンダー」、「LGBTツーリズム」などである。</p>

和歌山大学大学院 コンビニエンスストアでの検定料払込方法

24時間
支払可能

1 Webで事前申込み

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。

本学HP
からも
アクセス
できます！



<https://e-shiharai.net/>



- ※確定画面に表示される番号を②の枠内にメモしてください。
- ※番号取得後に入力ミスに気づいた場合はその番号では支払いを行わず、もう一度入力直して、新たな番号を取得してお支払いください。
- 支払い期限内に代金を支払わなかった入力情報は、自動的にキャンセルされます。

2 コンビニでお支払い

- 検定料はATMでは振り込みできません。必ずレジでお支払いください。
- 店頭端末機の画面デザイン等は、予告なく変更される場合があります。

【払込票番号 (13ケタ)】
□□□□ - □□□□ - □□□□

●レジにて
「インターネット支払い」と店員に伝え、印刷した【払込票】を渡すか、【払込票番号】を伝えてお支払いください。

マルチコピー機は使用しません

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料取扱明細書」(チケット)を受け取ってください。

【お客様番号 (11ケタ)】
□□□□□□□□□□□

【確認番号 (4ケタ)】
□□□□

Looppiへ
各種サービスメニュー
各種代金・インターネット受付
(紫のボタン)
各種代金お支払い
マルチペイメントサービス
【お客様番号】【確認番号】を入力

店頭端末機より出力される「申込券」(受付票)を持って、30分以内にレジでお支払いください。

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料 取扱明細書」を受け取ってください。

【お客様番号 (11ケタ)】
□□□□□□□□□□□

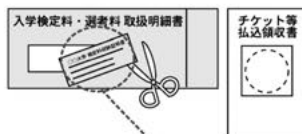
【確認番号 (4ケタ)】
□□□□

マルチコピー機へ
代金支払い
番号入力画面に進む
【お客様番号】【確認番号】を入力

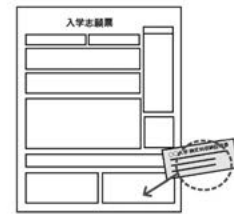
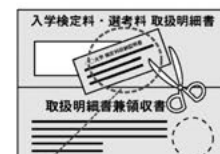
3 出願

「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、入学志願票の所定欄に貼り出願。

- セブン-イレブン ●ファミリーマート
「入学検定料・選考料 取扱明細書」の収納証明書部分を切り取る。
「チケット等払込領収書」は保管。



- ローソン ●ミニストップ
「入学検定料・選考料 取扱明細書」の収納証明書部分を切り取る。
「取扱明細書兼領収書」は保管。



※コンビニでお支払いされた場合、「取扱金融機関出納印」は不要です。

※「収納証明書」を掲げけする際には、糊本体の注意書きに「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載されている欄はご使用にならないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

⚠ 注意事項

- 出願期間を募集要項等でご確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日の「Webサイトでの申込み」は15:00まで、コンビニ店頭端末機の操作は15:30までです。
- 「検定料払込」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭ではお答えできません。詳しくはWebサイトをご確認ください。
- 一度お支払いされた検定料は、コンビニでは返金できません。
- 検定料の他に事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。
- 取扱いコンビニ、支払方法は変更になる場合があります。変更された場合は、Webサイトにてご案内いたします。